

虹色に彩られた楽譜と、そこに書かれた父の言葉。
「虹の音の軌跡をたどれ」—— それがすべての始まりだった。

少年は思う。
夢なんて見る場合じゃない。現実だけが俺のすべてだ。

少女は思う。
夢ってるで宝石ね！ 想像するだけで、世界がキラキラ輝いて見えるわ！

またある少女は思う。
私は誰よりも早く夢を叶えたわ。これからもずっと、叶え続けてやるんだから。

虹の都アルコバレーノに交差する、少年少女三人の夢。
カーニバルのラストを飾る、独唱歌を歌うのはいったい誰なのか？



キーワード

① アルコバレーノ

物語の舞台となる街の名前。通り雨による虹が見られることが多く、「虹の都」と呼ばれる。街の人々は雨を避けるために、色とりどりの装飾傘をファッションとして日常的に持ち歩いている。中心部には広場があり、カーニバルの期間はステージが特設されて多くの人々が集まる。

② カーニバル

4年に一度、2月下旬に開催されるアルコバレーノのお祭り。この期間は仮装をした人々が街中が賑わい、街の外からも多くの客が訪れる。仮装でお互いがわからない状況を楽しみ、夜ごとお酒やダンスで羽目を外す人々が多いが、一方で喧嘩を避けて引きこもる人もいる。

③ 実行委員会

カーニバルを管理する組織で、正式名称は「カーニバル実行委員会」。ステージの運営やツアーリストたちへのサポートなど、その業務は多岐に渡る。

④ フィナーレ

カーニバルのラストを飾る祝典のこと。街一番の歌姫が独唱歌(アリア)を歌うのが恒例で、非常に名誉なことだとされている。

⑤ パフォーマー

特設ステージで入れ替わり立ち代わり、パフォーマンスをしている旅芸人たち。カーニバルのために、わざわざ遠方からやってくる者もいる。

⑥ ツーリスト

カーニバルの時期に合わせてアルコバレーノにやってきた、お客様。そう、あなたのことです！

⑦ 虹の音楽団

かつてアルコバレーノで一世を風靡した正体不明の6人組で、カーニバルの期間だけ活動していた覆面音楽団。現在は解散し、それぞれ別々の生活を営んでいる。

登場人物

シオン (ダブルキャスト)

現実主義の若手音楽家。偉大な父と比較されながらも自分なりの音楽を模索し、日銭を稼ぐような生活をしている。彼が一冊のノートを見つけたことで、物語が動き始める。



ミュゼ

明るく元気な庶民の娘。日々の生活に精一杯で、なかなか披露する機会がないが、歌うことが大好き。仕立て屋で働きながら、健気に自身の夢を追いかけたい。

アイリス

アルコバレーノ随一の人気歌姫。シオンとは幼馴染で、家族同然の付き合いをしてきた。シオンが音楽家として評価されないことを気にして、ことあるごとに世話を焼いている。



ジャロ

ミュゼが働く仕立て屋の店主で、アイリスの御用達。悪意はないがマイペースなミュゼと、わがままな客たちにいつも振り回されている。彼の作るドレスは、アイリスのお眼鏡にかなうのか？

ヴェルデ

ミュゼの父。芸術家で、カーニバルのたびに自主的に作品を制作し飾っている。作品の素晴らしさをなかなか理解してもらえないのが悩み。最近買った緑色の傘がお気に入り。

アズーリ

シオンの母。夫の失踪後、シオンを一人で育ててきたが数年前に他界している。生前は愛用のアコーディオンを奏で、よくシオンに聴かせていた。物言わぬ母の調べは、迷える息子に何を語り、託すのか。



ヘリング

シオンの父。アルコバレーノでその名を知らない者はいないほどの有名な音楽家だった。12年前に失踪し、現在は行方不明となっている。

インディ

かつてのアルコバレーノのトップスター。すでに一線をアイリスに譲り引退、屋敷にこもるような生活が続いている。フィナーレの前夜、彼女に起こる変化とは……？



アランチョ

カーニバル実行委員会の委員長。シオンにフィナーレの独唱歌(アリア)の作曲を依頼した。部下に指示を出すべく、自慢のステッキをいつも持ち歩いている。

ミリオーニ

ビッグスターを夢見るステージショーのトップバッター。ステージを虹色に染め上げる、クライマックスの「レインボーパレード」は必見！



ローザ

カーニバルにやってきた新人パフォーマー。憧れのステージに立てて、テンションは上がりまくっておはしゃぎ！今日はわたしのとっておきを見せちゃおうよ！

アルロワ

カーニバルの夜の、もうひとつの物語。打ち捨てられた鈍色の「ハーモニー」が彼の方で再び銀色に輝くとき、真の調和が完成する——。



レアルタ

素性を隠し、素顔を覆う。お互いが誰かも分からない、貴族主催の仮面パーティ。幻想的な出来事、不可思議な体験は、いつしかあなたの「現実」となる。

ジーン

熱狂が続くサロシショー。お次の出演は、魔法のようなテクニックを持つ色男。隠し切れないカリスマ性は、あなたを更なる熱狂に誘うだろう。

チー

ヴェルデが創ったモニュメントにお菓子で飾り付けするいたずらクラウンのチーと、お腹を空かせた仕事帰りの雑貨屋ボッカ。ドタバタ劇の意外過ぎる結末にごうご期待！



ボッカ

オペラ

見目麗しい旅芸人。パフォーマンスを依頼するのは、実行委員会も苦労したとか。フィナーレを絢爛に彩る彼女の演技は、きっと貴方の心を掴んで離さない。

ロッツ

ステージで行われているショーの司会を務める、さすらいの道化役者。パフォーマーたちのまとめ役的な存在。



ピリエット

パフォーマーの一人。可愛らしい容姿に見とれている、指先に騙されてしまえ。前の方にお座りのお客様には、彼女から思わぬプレゼントがあるかも★

